

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
420008	X-13/33-B-3-420008						
授業科目	担当教員						
情報システム開発	小林 満男	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1年次生】経営情報学部経営学科 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × × × 専門 専門 専門	× × × × × 必修 選択 必修	× × × × × 3年 3年 3年

授業目的

コンピュータを活用して企業の情報システム化を進めるための方法論と手順について学ぶ。情報システムの導入計画から、分析、設計、製造、テスト、運用・保守にいたるライフサイクルの中で、どのような仕事が行われるのか、どのような組織でどのような管理が必要なのかを理解する。演習では提案依頼書に基づき、プロジェクトとして業務の仕組みを調査・分析しコンピュータを活用した情報システム化の提案を行うことを通し、計画的に目標を達成することを体得する（毎週1コマ、16回）。

各回毎の授業内容

第1回

【授】[オリエンテーション]

これまでに大学で学んだことをふまえ、企業経営と情報システムについて事例をふまえながら講義します。

【前・後】教科書（目次等）と配布資料で予習、復習4時間

第2回

【授】[ソフトウェアエンジニアリング]

技術者の仕事、ソフトウェアエンジニアリングの知識体系について学びます。

【前・後】教科書第1章と配布資料で予習2時間、復習2時間

第3回

【授】[ソフトウェアの開発プロセス]

プロセスとプロダクト、ソフトウェア開発モデルについて学びます。

【前・後】教科書第2章と配布資料で予習2時間、復習2時間

第4回

【授】[特別講義] または [情報システムの開発事例の講義]

外部講師による特別講義、または教員が従事した情報システム開発事例について紹介します。

【前・後】当日の配布資料で予習2時間、感想文執筆等で復習2時間

第5回

【授】[分析と設計]

システムアプローチ、構造化分析・設計、モデルとモデリングについて学びます。

【前・後】教科書第3章と配布資料で予習2時間、復習2時間

第6回

【授】[プロジェクト管理]

モダンプロジェクトマネジメント、PMBOK、PMI、PMPについて学びます。

【前・後】教科書第4章と配布資料で予習2時間、復習2時間

第7回

【授】PBL [(①-1) プロジェクトの発足]

チーム学習の進め方について説明します；演習

【前・後】教科書（補足資料）とプロジェクト実施要領で予習復習4時間

第8回

【授】PBL [(①-2) 課題、現状分析]

提案依頼書から情報システム化提案書作成までのステップについて学びます；演習

【前・後】調査分析作業等（予習復習）を4時間程度

第9回

【授】PBL [(②-1) 提案システムの検討]

処理方式、HW/SW/DBシステムの検討について学びます；演習

【前・後】検討作業等（予習復習）を4時間程度

第10回

【授】PBL [(②-2) 提案システムの見積り]

情報収集、各種見積り方法について学びます；演習

【前・後】検討作業等（予習復習）を4時間程度

第11回

【授】PBL [(③-1) 費用対効果の検討]

IT投資目的、評価方法について学びます；演習

【前・後】検討作業等（予習復習）を4時間程度

第12回

【授】PBL [(③-2) 提案書作成、レビュー]

品質管理とレビューについて学びます；演習

【前・後】提案書作成等（予習復習）を4時間程度

第13回

【授】PBL [(④-1) 提案書プレゼン]

情報システム化提案書をプレゼン（評価）していただきます；演習

【前・後】プレゼン準備、PJ管理資料の整理等（予習復習）を4時間程度

第14回

【授】PBL [(④-2) 提案書（書）の評価方法]

チーム学習の振り返り（各種ドキュメン、感想文の提出）をしていただきます；演習

【前・後】PJ管理資料の整理、振り返り等（予習復習）を4時間程度

第15回

【授】[情報システム開発の復習とまとめ]

講義とPBLを振り返ります（及び期末試験の実施方法について説明します）。

【前・後】教科書及び配付資料で予習復習4時間

第16回

【授】[期末試験]

80分（テキスト等、一切の持ち込みを禁止します）

【前・後】教科書及び配付資料で予習復習4時間

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	30	10				20	60
小テスト・授業内レポート	5					5	10
宿題・授業外レポート	5	5	5				15
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）					5		5
演習						5	10
その他							

①定期試験の（問題1）基本的な知識（10%）、（問題2、問題3及び小テスト）開発手順等の理解（30%）

②定期試験の（問題4、問題5、問題6）プロジェクトマネジメント、デザインレビュー（20%）と開発規模等の見積もり（10%）

③定期試験の（問題6）費用対効果等（10%）と情報システム化提案（20%）

[情報システム化提案]◎チーム評価（20%）、○個人評価（10%）

○分析・設計（情報システム化提案書作成）: 10%

○プレゼンテーション等: 5%

○プロジェクト管理作業: 5%

○個人の取組み状況（気づき）: 10%

<フィードバック方法>

- ・小テスト（特別講義の感想文を含む）については学生の解答例について解説する
- ・情報システム化提案では、各チームの提案書及びプレゼンについて、教員がその内容及び評価について解説する
- ・期末試験結果の全般的な講評はポータルで行う

教科書参考書

教科書：鶴保・駒谷共著 「ソフトウェアエンジニアリングの授業1,2」 翔泳社 各2050円（購入必須）

参考書：永井昭弘著 「RFP&提案書 完全マニュアル」 日経BP社 2205円（購入不要）

受講に当たっての留意事項

- ・授業に出席することは単位認定の必須条件です。欠席が1/3をこえた場合は単位認定しません。
- ・チーム学習の期間は隔週開催となります（チームによる自主的な学習を期待します）。

学習到達目標

①情報システムを開発する手順を理解し、開発過程で発生する問題点に対する課題解決の方法等を考えることができる。（定期試験30%、小テスト10%）

②SEやプロジェクトリーダーとして、与えられた制約下におけるチームで目標を持って計画的に仕事を進め、進捗の把握、修正するための知識を理解し、説明と実施ができる。（定期試験20%、課題10%）

③社会（顧客）の要求を解決するため、問題の認識、制約条件の特定、及び問題を分析しモデル化を行い、情報処理上の要件としてまとめるデザインの基本的な能力が身につく。（定期試験10%、課題20%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E, G

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習